

第5期麻生区区民会議 第7回企画部会 議事要旨

1 開催日時：平成27年7月3日（金）午後3時～午後4時40分

2 開催場所：麻生区役所第3会議室

3 出席者：[委員]

岡倉委員、金光委員、菅野委員、高倉委員、高橋(慶)委員、林委員

(欠席委員) 上野委員、白井委員

[事務局]

井上課長、白石担当係長、榎本

4 傍聴者 0名

5 配布資料

- 資料 1 各専門部会議事要旨  
2 第2回あさ子育てフェスタ関連資料  
3 岡倉委員提供資料

参考資料

- 1 第6回企画部会議事要旨

6 議 事

(1) 専門部会の検討経過報告

ア 若い世代が住みたくなるまちづくり部会

【説明事項】

・白井部会長欠席のため、菅野委員から、資料1-1により第7回部会の内容について報告。空き家の利活用について、まちづくり局政策担当から、王禅寺西2丁目・東百合丘4丁目居住者に対する「現在のお住まいに関するアンケート調査」について、説明があった。今後、空き家の利活用について、不動産団体や6大学の学生課にヒヤリングを行う予定。麻生区の魅力のブランド化とPRについて、いろいろなイベントをやっているが認知されておらず、PRに課題がある。次回部会に子育て世代を呼び、子育てフェスタでのアンケート項目についての検討に参加してもらい、意見交換を行う予定。

(主な意見)

・麻生区は横浜市緑区、横浜市都筑区に次いで県で3番目に平均所得が高いため、持ち家率が高い。→大きな土地を持っている人が、他都市に出ていくと、空き家になる前に、その空いた土地に家が2軒建ったりする。基本的に購入者は、中古物件よりも新築を好む傾向が強く、不動産業者も新築物件の方が儲かるため、賃貸は少ない。マンションは、リノベーションをしているところが多い。マンションと戸建では、考え方が異なるのではないか。

・駅近でマンションが建った時、王禅寺西に居住する高齢者が利便性のよい駅近マンションへ移ったりしていた。

・平均所得が高いので、他の人に貸さなくても良いという意識があるのかもしれない。また、相続等で揉めており、貸したりしない場合もあるのではないかと。空き家の利活用については、大学で研究も行われている。

・空き家の利活用について、住んでもらおうとの話が中心になっているが、他の切り口はないのか。→例えば、音楽大学の楽器の練習場や地域活動やクラブ活動等の活動の場所としても考えられるのではないかと。

・現在ある家を簡単にリフォームして、若い世代の人でも安価に家を購入できるようにして、外から若い世代に移り住んでもらう。また、元々麻生区在住の親世代は、自分の子どもが麻生区に定住してもらえるような働きかけをするようになればよいのではないかと。

・一般的に麻生区は、緑が多い、閑静な住宅街、芸術・音楽の街というイメージがあるが、もっと良くしていくためにはどうしたらよいか。どのようにPRしていけばよいかを検討していく必要があるのではないかと。→流山市が良い参考例になるのではないかと。また、不動産屋が麻生区の魅力を示したパンフレットを作成しているので、PRの参考になるのではないかと。

## イ 市民活動・地域活動の活性化部会

### 【説明事項】

・岡倉部会長から、資料1-2により第7回部会の内容について報告。「ボランティア活動の促進」について、ターゲットをシニア世代メインに検討を進めていくこととした。川崎市シティープロモーション戦略プランでは、市民が参加するまでの過程を「知る→関心を持つ→調べる→行く→体験する」の段階に分けて考えている。それぞれの段階で効果的なアプローチをどのようにしていくのかを検討していく。アンケート調査やボランティアの基礎講座など、どんなことができるのか審議していく予定。

### (主な意見)

・冊子を作ったことが、区民に伝わっていない。→興味がある人はインターネットで検索を自分でしていく。いかにして区民の目にふれさせるのが課題。「やまゆり」でもいかに区民の目にふれさせるのが課題としており、多摩区にある団体がインターネットのチラシギャラリーをしているので、参考になるのではないかと。

・市民館、社会福祉協議会、やまゆりの3つの場所がもっと連携できるとよいのではないかと。

・冊子を作ったら、インターネットにアップしていけば、リンクして広がっていくのではないかと。

・情報を発信する側のやり方の問題ではないのか。

## (2) 第2回あさお子育てフェスタへの参加について

### 【説明事項】

・事務局から、資料2により第2回あさお子育てフェスタへの参加について説明。設営・受付・片づけ等に人手が必要なため、協力をお願いしたい。

・区役所ロビーに区民会議のPRコーナーを設置予定であり、区民会議ニュース等を置く予定。スペースとしては、長机1つ分の大きさくらいとなる。

(主な意見)

- ・「若い世代が住みやすいまちづくり部会」は、子育てフェスタでアンケートを取る予定であるが、「市民活動・地域活動の活性化部会」は、シニアをターゲットとしているため、子育てフェスタの参加者だとアンケートの対象が違ってくるのではないか。
- ・区民会議は、主たる団体として子育てフェスタへ参加するわけではないので、そこまでやることがないのではないか。また、どのような役割があるのかとどれくらいの人数が必要なのか。→コンシェルジュとして入ってもらう予定。役割分担や人数については、これから調整していく。
- ・第4期区民会議では、あさお子育てフェスタに協力していこうとの話があったため、第4期の委員に声掛けしてもらいたい。→事務局が第4期安全・安心のまちづくり部会委員への声掛けを行う。
- ・第5期区民会議についても、次回、各部会で子育てフェスタの参加について、検討していくこととなった。

(3) その他

○岡倉委員から、資料3により区民会議に寄せられたアンケートについて、調査をしてきたため、報告

【説明事項】

・鶴亀松公園について、サッカーグラウンド2個分の広さがあり、平日の午後3時頃には、子ども10人が大型遊具の周りを駆け回り、母親6人が木陰で見守りながら、会話を楽しんでいた。公園には、隣接した家屋がないため、快適な環境であった。

(主な意見)

- ・このような環境の場所が増えていくと住みやすい街になるのではないか。

○イオンとの連携についての情報提供について

【説明事項】

・事務局から、イオンとの連携について情報提供。平成25年7月に「川崎市とイオン株式会社の包括連携協定」を締結している。区民会議として、イオンとの連携も視野に入れることができるので、参考にしていきたい。

(主な意見)

- ・区民会議の情報発信として、区民会議ニュース等のパンフレットを設置してみてはどうか。
- ・実際の場所に行ってイメージを湧かせることが必要ではないか。
- ・イオン側としては、集客効果を狙っているのではないか。
- ・1階は掲示板があり、人通りも多いが、そこにチラシを置くことはできるのか。→1階は難しい。
- ・区民会議だけでなく、市民活動団体のチラシも置けるよう検討してほしい。
- ・毎月恒例イベントにまで発展するならば、例えば、市民活動の相談コーナーを設ける等が考えられるのではないか。
- ・イオンとの連携内容を具体的に検討し、提言に入れていくことも考えられる。

○フォーラムについて

- ・区民への認知度を高めるために、今後開催について、各部会で検討していく予定。

以上